

<第104回調査>

2018年1月29日

### 【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 【調査実施期間】

2018年1月16日(火)13:00~2018年1月23日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

### 【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

### 【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は839件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

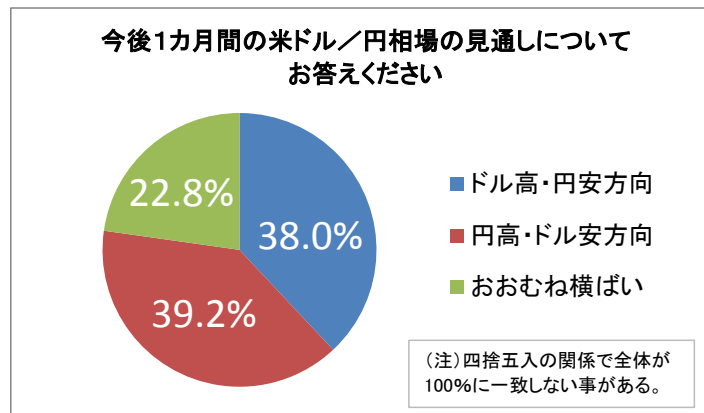
Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第104回調査結果略報：ユーロ強気度合いは約4年ぶりの高水準に】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

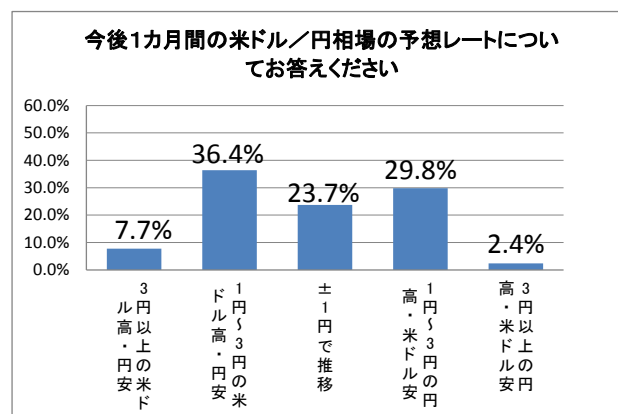
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が38.0%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は39.2%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼1.2%ポイントとなり、6か月ぶりに弱気予想を示すマイナス圏に低下した。なお、1月の米ドル/円予想DIは3年連続のマイナスとなった。調査期間中の米ドル/円相場は、110-111円台で推移し、日銀の(金融緩和からの)出口観測や、米つなぎ予算の失効にともない一部の米政府機関が一時閉鎖された事などから上値の重い展開であった。米長期金利の上昇にもかかわらず上値が伸びない米ドル/円相場に対して、弱気な見方が徐々に増えつつあるようだ。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP6-7に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が36.4%と最も多く、「1円～3円の円高・米ドル安(29.8%)」、「±1円で推移(23.7%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(7.7%)」、「3円以上の円高・米ドル安(2.4%)」の順になった。ヒストグラムの形状は「M字」を描いており、個人投資家の見方が割れている様を示している。また、僅かとはいえ米ドル高・円安側に傾いている点は問1の回答結果と不整合的に見える。たとえ米ドル高・円安に振れても値幅は限られるとの見方が強いという事でもあろうが、FX個人投資家の相場観が定まりきっていないようにも感じる。

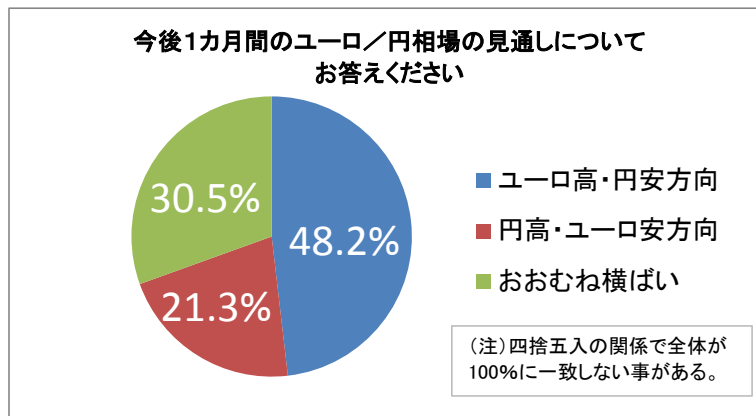


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

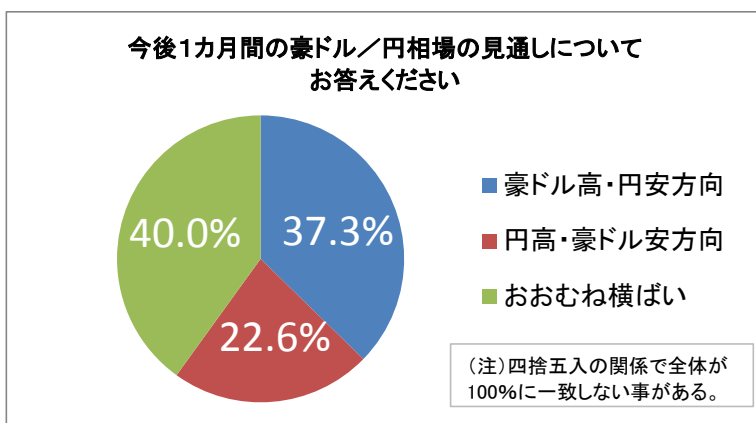
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が48.2%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が21.3%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は△26.9%ポイントとなり、前回(△10.0%ポイント)からプラス幅が拡大した。なお、これは2013年12月以来の高水準であり、FX個人投資家はここに来てユーロ強気(円弱気)姿勢を強めている。調査期間中のユーロ/円相場は、135円台を中心とするもみ合いが続き方向感を欠く展開であったが、欧州中銀(ECB)の金融政策正常化に対する期待は根強いようだ。※過去のユーロ円予想DIの推移はP6-7に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が37.3%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は22.6%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△14.7%ポイントとなり、前回(△15.4%ポイント)からほぼ横ばいとなった。調査期間中の豪ドル/円相場は、世界的に株価が上昇する中、88円台を中心に底堅い動きとなり、昨年12月後半に付けた直近高値(89.087円)の更新を試す場面もあった。2017年の中国国内総生産(GDP)が7年ぶりに前年の伸びを上回った事なども、豪ドル先高感に繋がったと考えられる。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP6-7に掲載。



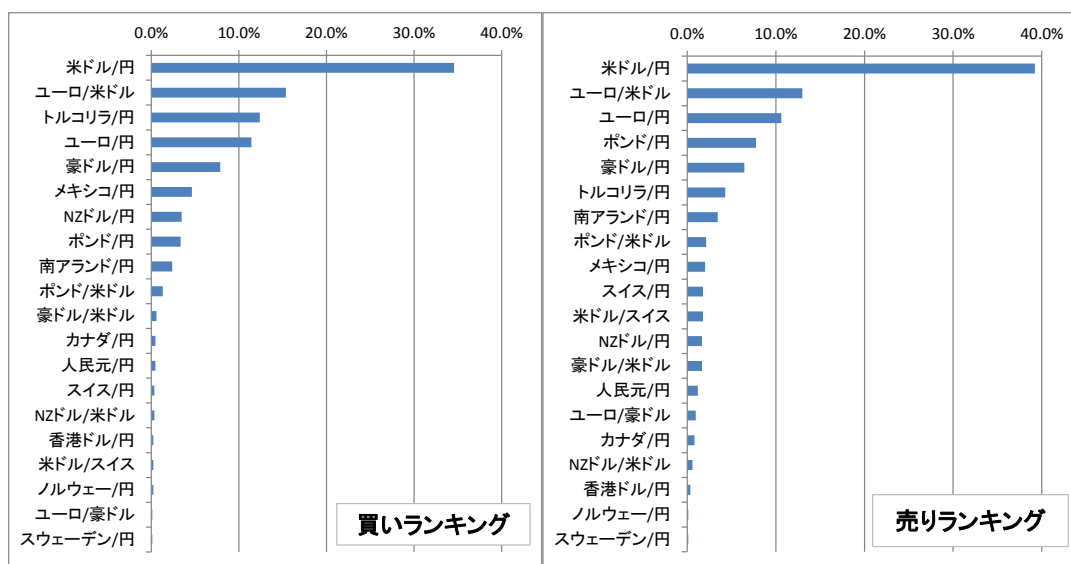
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が34.6%の回答割合を集めて1位であった。以下、ユーロ/ドル(15.4%)、トルコリラ/円(12.4%)、ユーロ/円(11.4%)、豪ドル/円(7.9%)の順に続いた。米ドル/円は2位以下に大差を付けて連続首位記録を64カ月に伸ばした。ユーロ/ドルは、欧州中銀(ECB)の早期緩和縮小期待などから9月以来の2位に浮上。トルコリラ/円は、30円の大台回復後の反落によって達成感が出たのか、4カ月ぶりに3位に後退した。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは米ドル/円が39.2%の回答割合を集めて15カ月連続で首位をキープした。以下、ユーロ/米ドル(13.0%)、ユーロ/円(10.6%)、ポンド/円(7.7%)、豪ドル/円(6.4%)の順に続いた。米ドル/円は「売り」で注目の割合が「買い」で注目の割合を上回った。また、回答割合は前回の29.8%から10ポイント近く増加している。米連邦準備制度理事会(FRB)が2017年に3回の利上げを行った事で今や米ドルは高金利通貨の部類に入る。その米ドルを対円で売り持ちにすると金利差の支払いが生じるが、それでも個人投資家の売り意欲が高まっている点は非常に印象深い。

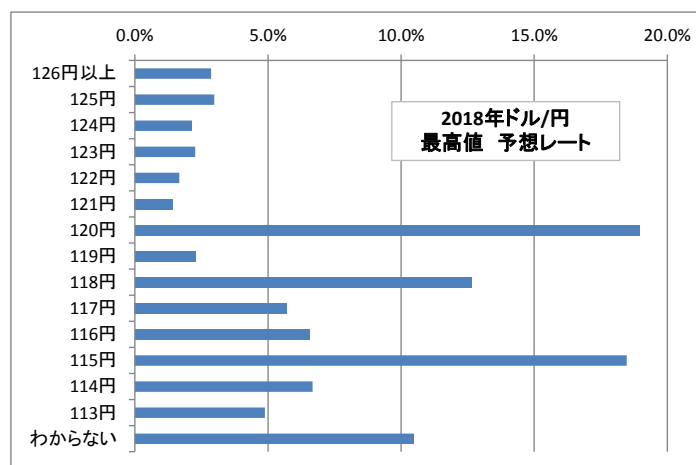


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

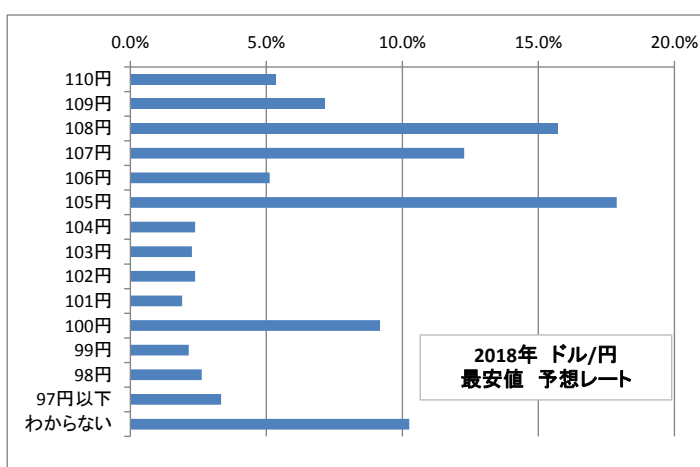
### 問6: 2018年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「2018年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「120円」と答えた割合が19.0%と最も多かった。次いで「115円(18.5%)」、「118円(12.6%)」となり、以降は「114円(6.7%)」、「116円(6.6%)」、「117円(5.7%)」、「113円(4.9%)」、「125円(3.0%)」と続いた。「120円」が最も多かったにもかかわらず、「121円以上」の割合(合算で13.4%)が低かったのが印象的だ。その結果、最高値予想レートの加重平均は117.93円となった(「わからない」は除き、「126円以上」は126円として計算)。



### 問6: 2018年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

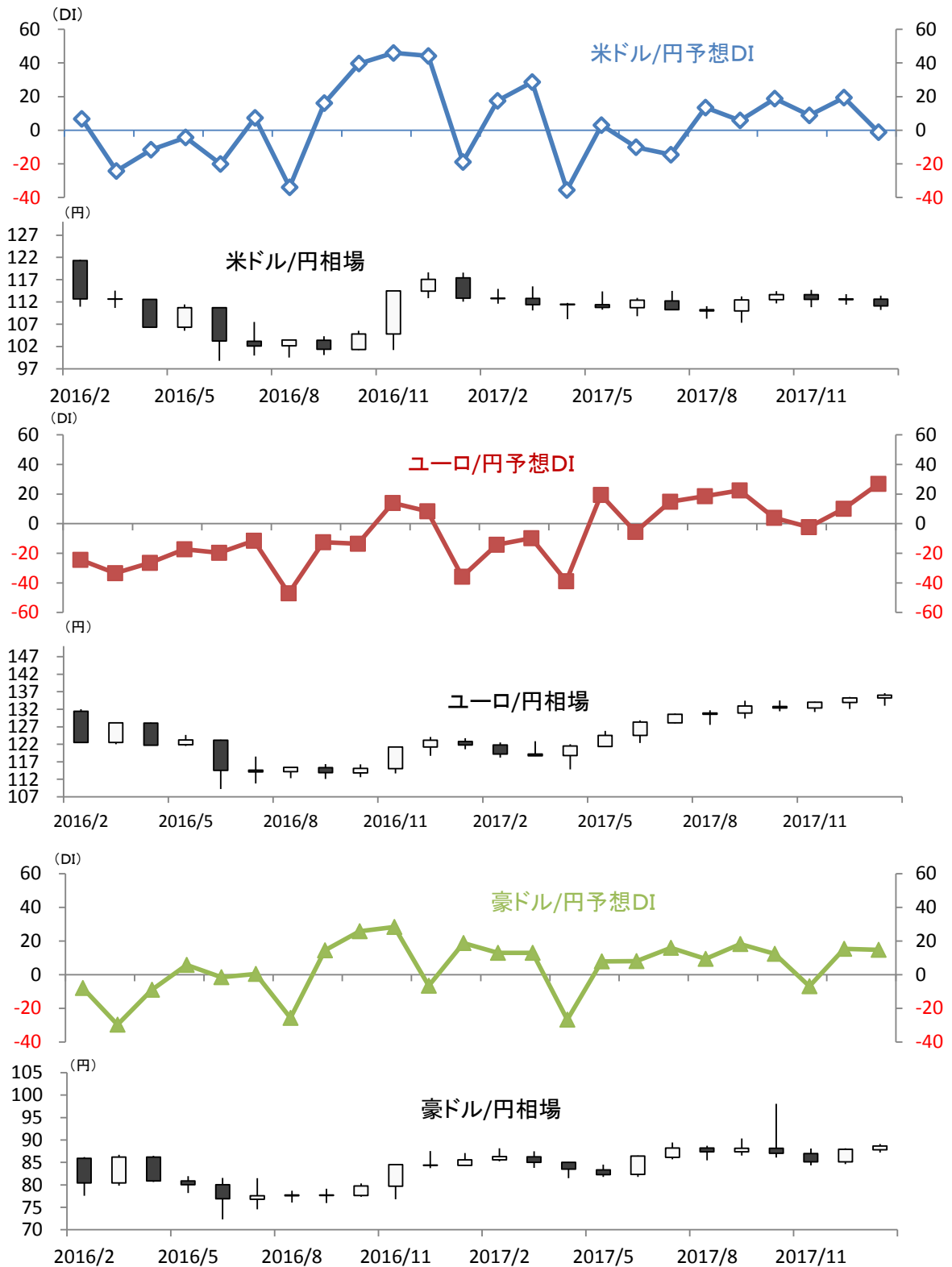
今回もうひとつの特別質問として、「2018年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「105円」と答えた割合が17.9%と最も高く、次いで「108円(15.7%)」、「107円(12.3%)」、「100円(9.2%)」、「109円(7.2%)」、「110円(5.4%)」、「106円(5.1%)」と続いた。節目の「100円」や「105円」は当然として、2017年4月以降のレンジ下限にあたる107-108円に回答が集まったのが印象的だ。なお、最安値予想レートの加重平均は105.08円となった(「わからない」は除き、「97円以下」は97円として計算)。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第104回目となりました。調査開始から8年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
	2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5
2月		46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
3月		53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
4月		21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
5月		38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
6月		33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
7月		30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
8月		45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
9月		40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
10月		48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
11月		40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
12月		45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com